

※本資料は「世界メディカル関連株式オープン(愛称:医療革新)」の概要について投資家のみなさまにお知らせするために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

## 自宅でのケアで、生活の質が向上

### 骨粗しょう症は治る時代に

組入  
第3位 **イーライ・リリー**   
アメリカ

**骨粗しょう症**とは、骨の密度(骨密度)が低下してスカスカになり、骨がもろくなる病気です。骨粗しょう症になると、重い荷物を持ち上げたり、尻もちをついたりなど、ちょっとした衝撃で骨折してしまうこともあります。気が付かないうちに「いつのまにか骨折」をしてしまうこともあり、65歳を過ぎるとそのリスクが上がると言われています。

#### 《重症化した骨粗しょう症の例》

【背骨】骨がもろくなり、つぶれたり割れるなどの「いつのまにか骨折」が起こる



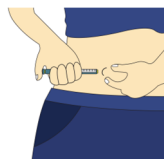
【手首】転んで手をついただけで、骨折する

【太ももの付け根】つまづくだけで骨折し、歩けなくなる

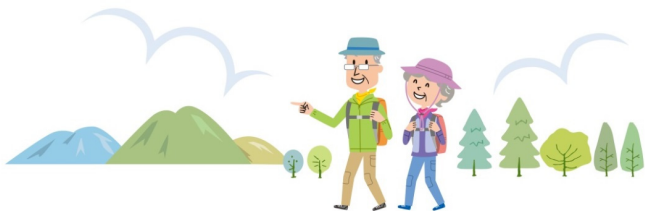
#### 治療

食事療法、運動療法といった生活習慣の改善による治療のほか、骨密度が基準値以下になった場合、薬物治療が必要になります。

骨粗しょう症の治療薬は、大きく分けて2種類あります。「骨が壊れるのを防ぐ薬」と、「骨を造る薬」です。同社が提供する「フォルテオ」は、骨を造る薬の1つで、骨密度を増やして骨の再形成を促進することにより、骨折の危険性を減らすことのできる注射剤です。



お医者さんの指示の下、**注射は自分で行えるため、自宅で治療することが可能です。**



### 痛くない血糖測定で糖尿病と付き合う時代に

組入  
第2位 **アボットラボラトリーズ**   
アメリカ

**糖尿病**とは、血液中のブドウ糖(血糖)が多くなる病気です。食事をすると、健康な人は一時的に血液中のブドウ糖の割合(血糖値)が上がりますが、すい臓から出ているインスリンというホルモンによって血糖値を一定の範囲内におさめてくれます。糖尿病になると、ブドウ糖をうまく血液中から体内の細胞に取り込めなくなってしまう、食事後の血糖値が下がりにくくなります。そして、血糖値が高い状態が長く続くと、全身の血管が傷つき、合併症を引き起こしてしまいます。

#### 《合併症の例》

【目】糖尿病性網膜症

【腎臓】糖尿病性腎症

【脳】脳梗塞

【心臓】心筋梗塞、狭心症

【足】糖尿病性えそ



#### 治療

血糖値を良好にコントロールすれば、合併症を防ぐことが可能です。そのためにも、定期的な血糖測定が欠かせませんが、従来は針を刺して測定するため、痛みを伴い、

また傷口から雑菌感染のリスクもありました。同社の血糖測定機器「FreeStyleリブレ」は、小型のセンサーで、腕に装着するだけで血糖値を簡単に測定することができます。また測定したデータは一定期間保管できるので、お医者さんにデータを見せて、経過確認もスムーズにすることが可能です。



糖尿病になった後も、**血糖値を良好にコントロールすることで、活動的な生活をおくることができます。**



### 機械でパーキンソン病をコントロール

組入  
第7位 **ボストン・サイエンティフィック**   
アメリカ

**パーキンソン病**とは、脳の異常のため、運動機能に障害が生じる進行性の病気です。私たちが体を動かす動きは、脳からの指令で行われています。脳から体の各部分への指令は、神経伝達物質のドーパミンが神経細胞を通じて流れることで伝えられます。パーキンソン病の患者さんは、ドーパミンが不足することで指令がうまく伝わらないため体の動きに支障がでるとされています。

#### 《主な症状》

動きがゆっくり



手足が震える



バランスがとれない



手足がこわばる

#### 治療

現段階では、完治する治療法は見つかっていませんが、早い段階で治療を始めれば、よい状態をより長く保つことが可能になってきました。

一般的に、パーキンソン病の治療は薬で行いますが、症状が進行すると薬によるコントロールが難しくなります。

同社が提供する脳深部刺激療法では、あらかじめ体内に小さな機器を植え込むため、外科手術を行います。手術後は、リモコン操作で脳に電気刺激を与え、脳内の信号を調整することで、自分で状態をコントロールすることができるようになります。



これにより、**自宅に居ながら、安定した状態を保つことが可能になりました。**



(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

番外編

厚生労働省が認めた**医療痩身**

組入  
第9位 **アラガン**   
アメリカ

**美容医療(痩身)**の分野においても、画期的な治療法が登場しています。脂肪細胞の数は10代の頃に定着し、その後は変わらないといわれているため、減量しても脂肪細胞の個数を減らすことができません。新しい痩身治療では、外科手術を行わずに、気になる部位の脂肪細胞を減らすことができるようになりました。

同社の痩身マシン「クールスカルプティング」による治療は、治療する部位を冷却して脂肪細胞にダメージを与えることで脂肪細胞を減らすことができます。これは、脂肪細胞が他の組織よりも低温に弱いという性質を利用したもので、皮膚そのものや血液には影響を与えず、脂肪細胞だけを分解することができるため、安全な治療法とされています。アメリカではFDA(米国食品医薬品局)の認可を受け、日本でも厚生労働省の承認を受けました。



**医療痩身によって、日常をより豊かにすることが可能になりました。**

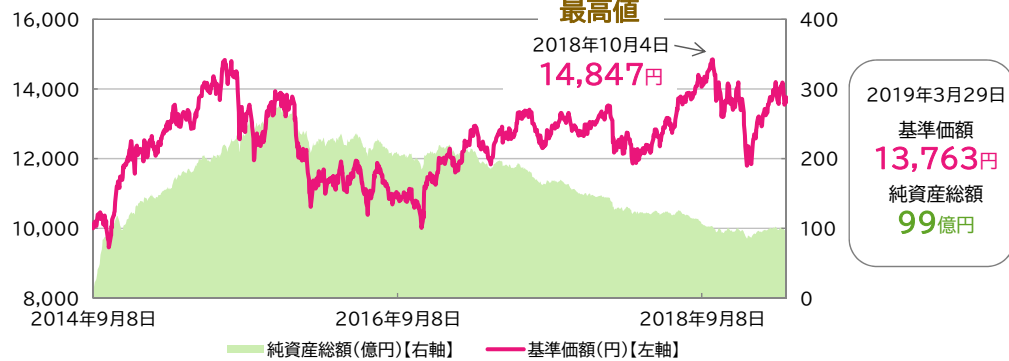
■上記の画像はイメージです。■上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2019年3月末における組入れ上位10銘柄のうち、1銘柄について、業務内容の一部をご紹介します。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

運用状況

当ファンドの基準価額および純資産の推移

当ファンドの基準価額は、2015年7月に高値をつけた後、チャイナショック・米国大統領選挙などの影響を受け下落しましたが、2017年以降、株式市場全体が上昇の流れのなか、2018年10月には設定来最高値を更新しました。その後2018年末にかけて、世界的な株価急落を受け基準価額は下落しましたが、足下は回復基調となっています。

(期間: 2014年9月8日(設定日)~2019年3月29日)



・基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「お客さまにご負担いただく費用」に記載しています。・分配金実績はありません。

■上記は、過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

【本資料に関するご注意事項等】

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

ファンドの目的

信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- 世界主要先進国市場の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。
  - ◆世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス等の医療関連(メディカル関連)企業の株式に分散投資を行います。
  - ◆株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。
- 徹底したボトムアップ・アプローチを行い、企業の適正価値に対して株価が割安と判断する銘柄に投資します。
  - ◆収益性や財務内容に加え、長期的な視点に基づき、新商品の研究開発力、経営戦略、競争力等に重点を置いたボトムアップ・アプローチを行います。独自に評価する企業の適正価値に対して、株価が割安であると判断する銘柄に投資します。
  - ※ボトムアップ・アプローチ  
投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。
  - ◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
  - 資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1、特色2のような運用ができない場合があります。
- ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図の権限を委託します。
  - ◆主として医療関連企業の株式に関する運用指図の権限を委託します。
  - ◆ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つです。
  - ◆医療関連セクターでは世界最大規模のファンドの運用アドバイザーを受託しています。
- 年1回の決算時(8月27日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
  - ◆分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

投資リスク

基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならずご帰属します。したがって、投資者のみならずご投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

お客さまにご負担いただく費用

◎お客様が直接的に負担する費用

※三井住友信託銀行でお申込みの場合

購入時	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×手数料率で得た額 手数料率は、購入代金(購入金額+購入時手数料(税込))に応じて以下の率とします。	
		購入代金	手数料率
		1,000万円未満	3.24%(税抜 3.00%)
		1,000万円以上1億円未満	2.70%(税抜 2.50%)
		1億円以上	2.16%(税抜 2.00%)
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> をかけた額	

◎お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に応じて以下の率をかけた額	
		純資産総額	信託報酬率
		200億円以下の部分に対して	年率2.160%(税抜 年率2.000%)
		200億円超の部分に対して	年率1.836%(税抜 年率1.700%)
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についても当ファンドが負担します。・監査法人に支払われる当ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。		

※ 運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

※ 上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

<課税関係> 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

●お申込み・投資信託説明書(交付目録見書)のご請求は

●設定・運用は



三井住友信託銀行株式会社  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号  
加入協会: 日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会